

令和6年度 胆沢愛宕地区地域未来塾 「HOP!STEP!!あたご塾」事業報告書

1 事業概要

- (1) 実施期間 令和6年12月24日・25日・26日・27日、令和7年1月6日・7日の6日間
午前10時～午後3時
- (2) 実施場所 胆沢愛宕地区センター、トレーニングセンター
- (3) 参加人数 実人数9名（対象生徒17名中）、延べ人数61名
- (4) 学習支援員 胆沢地域在住の教員OB5名
- (5) 活動内容 学習、体験事業、レクリエーション

2 活動スケジュール

	12月24日 (TUE)	12月25日 (WED)	12月26日 (THU)	12月27日 (FRI)	1月6日 (MON)	1月7日 (TUE)
10:00						
10:15	開講式	朝の会				
12:00	オリエンテーション (レク)	学習 (英語)	学習 (英語・理科)	学習 (社会)	学習 (社会)	学習 (理科)
13:00	【昼食・休み時間】					
14:40	学習 (英語)	学習 (数学)	学習 (社会)	学習 (数学)	学習 (数学・理科)	体験事業 (スカットボール)
	掃除・帰りの会 (15:00 解散)					掃除・閉講式

3 活動の様子

(1) 学習

自学自習の形態で実施し、1コマあたり2～3名の学習支援員が学習の指導、見守りを担った。生徒たちは主に冬期休暇中の課題を各自持参し、学習に取り組んだ。学習支援員の先生方の工夫された指導で、生徒たちが興味関心を持って学習に取り組んでいた。全体的に集中して学習に取り組んでおり、わからないところは積極的に先生方に聞きに行く姿が見られた。

適宜、換気や休憩をとりながら学習を進め、休憩中は生徒も先生も仲良く会話する姿が見られ、和やかでよい雰囲気だった。



(2) レクリエーション・体験事業

今回、初日の午前に行うレクリエーションの時間帯について、生徒の部活動参加を免除する対応を胆沢中学校にいただいた。地域との交流を深めるために、胆沢愛宕地区センターに企画をお願いし、ドローン操縦体験とワークショップを実施した。6名の生徒と、学習支援員5名、地域住民2名の方が参加した。ドローン操縦体験には、岩手県ドローン協会の方2名に講師を依頼し、実際にドローンを動かしながら操縦方法を教えていただいた。

ワークショップでは、胆沢愛宕地区にあったらいいものを書き出して、未来の胆沢愛宕地区について考えた。ワークショップで出された意見や案は愛宕地区振興会の活動に活用していく予定。

最終日の午後には、体験事業としてスカットボールを胆沢愛宕地区振興会に企画していただいた。



4 成果と課題

(1) 成果

- ・参加した生徒の実人数が9名と昨年度より大きく増加した。胆沢中学校から未来塾に参加する生徒の部活動を免除するという対応や、初日のオリエンテーションで中学生の興味を引くようなドローン操縦体験会を胆沢愛宕地区振興会で実施していただいたことが、中学生の参加意欲を上げることに繋がった。
- ・参加生徒が多かったことから、生徒同士の交流も増え、お互いに良い刺激を与えながら学習に取り組んでいた。
- ・令和3年度まで未来塾に生徒として参加していた高校生が最終日に参加したことで、参加生徒たちが高校生活について知ることができ、中学卒業後について考えられたのではないかと。
- ・学習支援員の先生方から手厚いサポートや指導を受けたことから、生徒アンケートでは「夏休みよりも宿題を理解して進めることができた。」「学校に比べて1対1で教えてもらうから、勉強が嫌いだったのから少し好きになった。」など、勉強への意欲が高まった感想が多かった。
- ・保護者からは、学習のサポートについて好評で、「わからないところをあたご塾で質問できるように、家である程度問題を問いていく等、頑張っていました。」という感想もあり、家庭での学習にも良い影響を与えていることがわかった。

(2) 課題

- ・生徒、保護者、学校からも継続した実施が望まれており、持続可能な事業の実施体制の構築を図ること。
- ・地域に根ざし、地域の教育力を生かした事業にするため、地域住民、高校生が事業に参画する機会を設けること。
- ・より参加人数の増加につながる事業周知方法と、学校との協働を図ること。